

霊能者シリーズ

1章 私が出会った3人の霊能者

世の中にはお勉強なんてしなくても、
スピリチュアルの力が生まれつき備わっている人がいます。
興味深いのは、生まれつきサイキックな人に限ってこんなことを言っています。

自分に見えたり、聞こえたり、感じたりする能力が無かったら、
自分が普通の人と同じなら、どんなに生きるのが楽だろう！
こんな力を与えた神様に腹を立てて、何度も「消してくれ」と逆らったのに！

と、私の友人は口をそろえて言います。
そうなんです。能力のある人ほどそう言うのだ。

そして、彼らは40～50歳も過ぎると、
やっと、サイキック能力と自分の使命との折り合いをつけているみたいです。

面白いもので、欲しくないのにサイキック能力を持って生まれて来ながら、
逃げてても逃げてても逃げられない人と、サイキックになりたいがために、
何百万もお金を👛かけてスピリチュアルの学校に行く人もいます。

2ヶ月ほど前のこと、私は3人の霊能力者に会いました。
皆さん、以前から知っていた方なのですが、それはそれはお忙しい方で、
OFFの時間に個人的にお話をする機会を設けて頂くなんて、
滅相も無いほど売れっ子の方達ばかりっす。

3人は、生まれつきの血統的霊能力のある方で、つまり先天的なサイキック能力者です。
そのとき口を揃えてお話しされていたのが、

霊能者：「将来の事が分かってしまう人生なんて、本当につまらないものよ。
先がわからないから人生は面白いものだと思うの。」

「例えば、目の前の人が、口ではにこやかにして良い事を言っているのに、
実は凄く恐ろしい事を考えていて、心の中で悪さをしていることが分かってしまったら、
どう？人間不信に陥ってしまうわ。

私は中学高校と殆ど学校には行けなかったわ。
だってあの集団のエネルギー、もの凄く辛辣で、わたし、倒れちゃうんだもん」



私：なるほどね～。確かにそりゃそうだわ。人の心の闇が分かっちゃって、それでも自分の心のバランスを保ってなきゃならないなんて、半端ないご修行だわな～。

と、またまた感心する私

霊能者：「恋愛だってそうよ。

相手の気持ちが分からないから恋心のモチベーションを持ち続けられるけど、告る前にはかない恋だとわかっていたらやる気なくなるでしょ？」

確かに・・・。

霊能者：「うちの3回目の主人なんて恋愛中は大変だったと思うわ。だって、この人との恋愛出来る！と分かった時点で嬉しくなってしまって情動が半端無く動くからさ、モーレツにアタックしまくるのよ、私💕

だから彼はその情熱を受け止めなくちゃならないんだから、大変よ～。その時は、も～嬉しくて嬉しくて止められないの。今はそれもしっかり落ち着いてパートナーとの事は修行だと思ってこなしているけどね。」

な～るほど、🍷天然サイキッカーにとっての不都合って、色々あるんやねんな～。



(ちょっと、同情の気持ち・・・)

そもそも、私はこの18年間魔法学校だけでなく、
それ以外でも、かなり多くの霊能者と接して来ていますし、じっくり観察👁️👁️👁️してきていま
す。

私が見てきた中で、人格と霊格（霊能力）の両方ともが整っている人は、
めっちゃ少なかったです。

（マジでいいわん🙄）

ちゅうより、霊能力の質の高さは、人格の質の高さと相似形のはずなんです。
一時は、凄い霊力を授けられたとしても、人格と共に成長していないと、
エゴと引き換えに、その能力は途端に消えてなくなる👉時があるのだ。
仮に能力が継続していたとしても、行きつく先は寂しい人生を送ることになっているでし
ょう。

私が洞察力がまだ未熟だった時は、なかなかそれを見抜けなくて、
見事にドロドロの結末をみる羽目になり、何度も嫌な思いを経験しました。
きっと今世、私が生まれてきた理由の一つに、

「真実を知りたい！」

というミッションが有るのだと思います。

子供の頃から、「それ、ホント？」

「本当の所はどうなの？」

「真実は何なんだよ〜」

「結論をおせーてくれ！👊」

って、いつも思っていました。

だから、要らぬ苦勞にわざわざ挑んで、

「人間の心の奥には一体何があるのだろうか？」

「本当の霊能力って、どんなものなのだろうか？」

って常に思っていたから、

「真実を見れちゃう旅行クーポン」を神様から貰ったのだと思うんだ〜。

私が最初に出会ったサイキックな人はアロマの先生だったなあ。

アロマを学びにアロマスクールに入ったのに、何故か💡👉

最初のレッスン日には先生からヒーリングをして頂くところから始まった。

（その時、私はヒーリングなんて言葉は全く知らなかったもので・・・）

後で分かった事だが、最初からその学校にはヒーリングスクールという名前がついてい
た。

（アホです🙄）

私は先生の美しさに頭がボーっとしてしまい、会ったその日に迷うことなく
スクール料金の振込みをしていた。

この人と1度お茶が出来るなら、18万くらい全然大した金額ではないと思ったからだ。
それくらい、先生には後光 ✨が差していて、
私には遥か遠く、そして清く美しい存在に見えたのだった🌈
アロマの先生は声も鈴のようで、私は近づくだけでもドキドキしてしまうのだ💖
最初のレッスンの日には、先生と1対1でお話をするだけで心が高鳴っていたのに、
いきなり・・・。。

ああ～～～、

お部屋に入った途端にカーテンを閉められ・・・て～。
お部屋を真っ暗にされて・・・。ドッキッ！きゃ～、何されるの？
そそそんな～、

そ、そこは・・・イケマセンわ。

あっ、あ、あ、あ～～～ヴあ～～💖。

わたくす。。まだ

心の準備が出来ておりませぬ～👩
と、変なことをされちゃうのを期待しつつ・・・、

先生の長い指先で、私のアソコを、あそこ・・・そこそこ、
あれ～～？なんだよ👩



正解は、両目の上を両手で覆っただけじゃん。

要するに、間違えなくこれはヒーリングじゃい。
なんじゃ、こりゃこりゃ👩想像しすぎ。

その後、アロマやヒーリングの学びをしていくにつれて、
先生のやっておられる事の凄さに気づいていったのです。👍
何年かして先生に

「ポイ」 🍷

されちゃうまで、私はアシスタントをやらせて頂いていたので、
スクールの生徒さんを先生と二人でヒーリングすることも度々ありました。
そんな中で、私達の精神や肉体がたくさんの

「見えない何かに」

影響されているということを何度も何度も目の当たりにしたのでした。

アロマの先生と出会って1年位経った頃、
次は除霊専門の霊能者と知り合うことになりました。
これも、きっかけはかなり変💡でした。

「ありがとう村」 って村が滋賀にありましたかね～？

「ありがとうおじさん」 に会いに行く。。



そんなイベントに、ヒーリングスクールの仲間に誘われて参加したことが有りまして、
もう、15年位前の事で、そこであった事が記憶に薄くてあまり思い出せないのですが、
確か神社めぐりとかをしていた時の事です。

同じイベントに参加されていた銀座のママさん👩とお知り合いになりました。
知り合いと言っても、実はたいしてお話しはしてないんです。
ママさんは**「帽子を忘れた！」**とか言って、
それは本人にとってそれは大事な事態らしく、ても困っていらっしゃいました。



日焼けした☀️銀座のママじゃ、多分マズイのかもね。
紫外線は、シミ・シワの大敵とか。。

私は折り畳み傘を持っていたので、ママにお貸ししたのですが、
何故だか私が東京に帰るまでの間に、傘を返してもらえなかったんです。
結局、その後、東京に帰って銀座のママから連絡が来ました。

「那旺ちゃん、傘を返すから長野まで行きましょう🇯🇵素敵な別荘があるわ」って。

ママの言っている意味がよくわからないけど・・・。

「まあ、良いか！」と、いい加減な私は、私は「はい」と返事をしてしまった。
そして、長野で出会ったのが、先に書いた除霊専門の霊能者だったのです。

行った先では、その霊能者のお勉強会をするらしく意外にも
集まっていたメンバーは、大手の企業に勤めている方とか、知識人の方が多かったです。
この時私はまだ魔法学校には出会っていないのですが、
この勉強会に来ていた女性から魔法学校の存在を知られるのでありました。

今考えると、ストーリーはちゃ〜んと出来あがっているのう。👉

勉強会の内容は、宇宙人だの、陰謀説だの、歴史の真実とか言っちゃって、
霊能者のリーディングによって、お勉強は進められて行っています。
今となったら、結構冷めちゃう内容ですが、

その時は私にとって、真新しいことばかりだったので、
アロマの先生同様に、私はその不思議さにはまってしまったぞい👉
その後、私は霊能者のメンバーの中では主要メンバーとなって行ったのでした。

いつも知らぬ間に主要メンバーになって行っている。

（もう少し、適当って事が出来なかったのかな？）

霊能者とも、ちょくちょく会うようになって、そのうち、霊能者の付き添いで、
たまに除霊のお手伝いをするようになります。

とは言っても、そばで見て👉いる程度の事なのですが、
霊能者は、「那旺ちゃんがいるとエネルギー的に助かるんだ。楽に除霊できるから」
って言われたから、私は、調子こいて、「私でお役にたつのなら」と、何度か同行した。
結局、アロマの先生のされているヒーリングも、霊能者の除霊も、
やっていることは、ほぼ近かったです。

クライアントさんのネガティブなエネルギーを解放してあげるから、
ヒーリングや除霊前と、↓



後とは、 ↓



クライアントさんの顔が全く変わるのです。
そして、その人の人生も身体の体質も、考え方も好みもどんどん変わって行く姿を、
私はずうっと観て👁️きました。

いや～、今考えると、観させられていた感じがするな～。

除霊専門の霊能者と出会ってから、ちょくちょく東京で安～い金額の
勉強会があったので参加する様になりました。

その勉強会で出会ったお坊さんも、その後の私の人生に大きく影響を
与えることになるのですが、ちょっと前に死んじゃったのね👵



(髪の毛を伸ばしたがっていたから、こんなイメージで)

彼はお坊さんを辞めて、
一度でもいいから「後ろ髪を引かれるってどんな感じが味わってみたかった！」
って言ってた。

彼が中学生に入って、おかあはんに無理くりお寺に入るように言われていて、
もの心付いたときから、ずうっと、ツルツル坊主だったって。
彼のことは、きっといつかお話し出来るといいなあ。

その霊能者も、お坊さんも、それまでの仕事を辞めて間もない時に出会っているので、
霊能者は年収5万円✳、お坊さんは年収1万円💵と教えてもらいました。
要するに、先の見通しなく仕事を辞めちゃったらしい。
ここで、私の師匠であるアロマの先生と彼らは接点を持つことになり、
彼らは先生の後押しもあり、すぐさまフィーバーしていくのです。

このサクセスストーリーは、いずれお伝えするかもしれませんが、
[霊能者のお話に戻りましょう。](#)

霊能者と出会った時、彼はとってもピュア💧な印象がありました。
お髭がはえている風ぼうの割には、瞳は少年の様に綺麗でした。
いずれそのキラキラ ✨した目が、

お～NO 🧑

赤い充血を帯びた目になって行ったのですが、



付け加えると、「**赤い充血を帯びた目**」と言うのは、
[私だけがく見えてる？>それともく感じてる？>だけの事かもしれません。](#)
[物理的なもんじゃないんです。](#)

出会ったころの霊能者の光る目 ✨と比例して能力も確かにありました。
この勉強会で知り合った女性が、私に魔法学校を紹介してくれたのですが、
[（彼女も私の人生に大きく影響を与えてくれた人です）](#)

その女性は、ご主人からDVを受け、骨折を繰り返し、精神的にも酷い扱いを受けていたそうです。彼女がどん底の時に霊能者の著書を見つけ、すぐさま霊能者に連絡をとったのだそうです。霊能者が彼女の頭に手を当てただけで、あらゆる曇りが解き放たれたと教えてくれました。

彼女はそれを「奇跡」と言っています。

それは、私にも良くわかります👍

自分はアロマの先生にも霊能者にも変えて貰った感覚はあまり無いのですが、先生方とヒーリングや除霊をご一緒させてもらう事が度重なると、確かに「奇跡」が起きていました。

因みに、なんで私が＜変えて貰った感＞が無いかというと・・・、

あ～～ん、もう🤔

なんやねんな～。

アロマの先生にこんなことを言われてしまったのだ。

「私は何百人の生徒をヒーリングして来たけれど、あなたは私には無理だわ」って。

アレ!?! それって、

つまり・・・スクールに入ってから、誰もが5回のヒーリングをやって貰えるのですが、そうそう、当然私もやって貰いました。

もしや、今頃になって、失敗だと？

ほんまけ?? 🤔

あじゃば～～～!?!

(この↑ 擬声語・ふる！)

先生は、あちこちの講演会で、

「私がヒーリングをして、変えられなかった人がいます。

それは、名前は言えないけれど那旺ちゃんと言う人だけです💥」っと、

私をネタにして、講演ではかなりウケていたようでした。

「先生でも変えられない那旺さんってどんな人かしら？」

と、私は生徒さんの名物みたいにされていた。

実際、地方から私に会うのを楽しみに来られている方もいました。

「オイオイ！動物園じゃあ、ね～んだぜ。

ちょっとそこの奥さんよ～。こちとら江戸っ子でい💪」

(あまり意味ない会話で、失礼)

3年もたって今頃バラされても、受講料18万払ったじゃん。👩🏻

っと、イジケちまったぜい。

それに、私はアシスタントやっている手前、立場上恥ずかしいじゃんか・・・。

私はその後、先生に直談判して、再度ヒーリングをやり直して貰うことにしました。

ところが・・・

ところで、先生は日本全国にスクールを展開しているために、
あちらこちらのホテルや、ウィークリーマンションを借りて移動されていました。

先生の身体はとても敏感なので、食事は肉類は食べません。

お魚も殆ど食べられないので、イカ・エビくらいです。

ですから、お食事はご自身で調理されることが多く、

次の場所に移動する時は、引っ越しの荷物をまとめるのが、大変な仕事になるのです。

ザルや鍋などの調理器具、調味料全般も荷物に含まれるからです。

お水も注意されているので、18年くらい前の話ですが、お水はペットボトルを購入する
など、よくこんな生活が続くものだ、彼女の使命の大きさを改めて感心する次第です。

私は先生のご苦勞を近くで見えて、

本当に力になりたいという思いは深まって行きました。スクールをやって
身を立てている訳ですから、当たり前と言えはそれで終わってしまいます。

でも、先生は自分のところに来てくれる方がたを、幸せの方向に導いてくださる

マリア様そのものなんです。

私は、マリア様の力が100%発揮できる為の駒になろうと決めていました。

地球の人々・動物・植物たちを守ってくれるマリア様を、

私はお支えしようと思いました。



このお顔、美智子皇后様にも少し似ている気がする。美しい！

私は私の使命感から、自分の価値を発揮できないと思い込んでいる家庭を捨て、
家を出てしまいました。

その時は、魔法学校に行き始めていたので、そちらにもエネルギーを投入したかった。
家族にしてみれば、本当に本当に勝手な話です。

その時の私は、そうだったのだ。

「ごめんなさい」🙏と独り言。

家を出た理由は、先生をサポートしたいだけではありませんでした。
霊能者の勉強会で知り合った、僧侶を辞めてしまったお坊さんもサポートしたかった
のと半分半分です。

彼も、潜在的な力はかなりありました。
こんな力を世間に出さなくて何になるのか！と、私はめっちゃ奮起していたのです。
今になって思います。

この時の私は自己価値が低かった。

自分を必要としてくれる人がいるのなら、
この地球がより良くなるのなら、



この身を捨てる事なんて・・・何のその！
って、本気で思っていました。
そういう魂の癖💖があるんですね。
(前世からの積み重ねでしょうが)

実は魔法学校に行こうとしたきっかけも、
アロマの先生の力になりたい気持ちが一番だったと思います。
先生が人をどんどん変えていきます。だから、たくさんの方たちが、
先生に救いを求めて来ます。先生はそれを受け止めて、全力投球されます。

でも、いくらマリア様に守られている先生でも限界はありました。
先生がどんどん衰弱されていっている様に見えました。
多分、みんなの「気」を受けてしまっているのでしょう。
先生にヒーリングされた生徒さんは次々に変わられてヒーラーになっていきました。
生徒の皆さんは才能を発揮し、
家族や友人にヒーリングをして凄い結果を出されていました。



愛💖の深い方たちが多かったです。

一方、私と言ったら家族から離れてしまいましたから、
特に誰にもヒーリングはしていないし、したいとも思っていません。
せいぜい先生のサポートで生徒さんのヒーリング力を目覚めさせる
お手伝いをするくらいです。

特に、あの人をなんとかしてあげたいとか、なんとも思わないんです。
私って、愛が少ないのかな💧ってたまに思います。
愛を送る相手が、地球とか地球を善くしてくれる人だと思うと、
急にモチベーションが上がるのでした。

そうそう話は戻って、何で先生の為に魔法学校に行きたいと思ったかという、
ヒーリングをしていると、先生も含めて生徒さんも、
色んな人のネガティブなエネルギーを受けてしまい、
体調を崩しているのが気になっていたのです。

要するに魔法学校で、ネガティブなエネルギーをプロテクトする方法を学ばないと、
先生がヤラれてしまうと思ったのだ。
この時もまた使命感で燃えて🔥いる私。
魔法学校は金💰がゴツツウかかります。
家を出てしまった私は、税理士事務所のパート程度の収入しかありません。

急げ急げ、

quick ! quick !

その時私は、強気で願いました。

「**私を魔法学校に行かせなさい！**」

さらに、

「**私以上の人材が他にありますか？ 居ないでしょう💧💧**」

だから私しか選べないのだ。」

って、本気で天に脅迫まがいの交渉をしたのでした。



それから3日後、魔法学校に行くだけのお金がジャラン👉っと入って来たのでした。

コレ本当の事なんです。

まだ、ちまたの本では明かされていない願望実現の（自分であみ出した）秘儀を
いずれスクールでお伝え出来たらとも考えていますが。。

この話は文字では伝えられないので、この位にしておきます。

すみません 🎵

（つまり、中途半端に聞くとつまらない結果になるという意味です）

先生のヒーリングをうけると、生徒さんが全員変わって行くのに
どうも私だけ現状維持で何も変化がありへん感じだわ 🌀💧

ところで、変化って？

どんな感じになるの・・・？

例えば、お酒が飲めていた人が飲めなくなる場合が多いです。

食も、生活環境も体調もどんどん変わって行きます。

スクールに入って3年位経った頃、先生にそのことを尋ねたところ、

どうも、私だけ失敗している 🧑

との話を聞いて、

そのうちタイミングをみて、やり直してくれることに決めました。

でも、待てど暮らせど、その時は来ず・・・。

ところで、私は家を出てから自分の住みか&スクールの開催場所&
先生にお泊りして頂く場所を考慮して用意しました。

先生の為に、生体エネルギーの浄水器も取り付けました。

もちろん自分にも欲しかったのですが、自己愛が少なかった私にとっては、
自分の為に高額なものを購入するにはハードルが高かったです。

いつも、自分を優先することに足踏みしてしまうんです。

勿体なくてね。。。

なんで、そんなけったいな性格になってしまったんやろか？



(パパも考えちゃう。これではヨクナイノダ・パパ鼻毛でとる)

お部屋のインテリアとかは、先生の方が趣味がとっても良いので、揃えてくれました。
先生が東京にいらっしゃる期間は、1か月半くらいの間に10日前後滞在されます。
あ～～、あんなに憧れていた先生と

一緒に暮らせるんだな～♡

お役に立てるんだな～🎵

これから、私の第2の人生が始まるのだ～。
魔法学校に行く様になってからはお部屋は浄化しているし、
調味料とかも気にかけて身体に良いものを用意しました。
先生の負担もかなり減ったのじゃないかなって、ちょっと嬉しいわたし🍡

「先生、褒めてくれるかな～」

これで、エネルギー的に敏感な先生の負担もかなり減ったかと思います。
先生と一緒に映画に行ったことがありました。
映画好きの先生です。
でも、隣に座っている先生は上映している間の最初から最後まで、
一度も背もたれに背をつけません。

ウンコでもしたいんやろか？

(あんなに綺麗な人でもウンコするよね？)



(私・美人なうんこ先生です)

あとでそのことを聞いてみたら、

(ウンコをするかどうかじゃないよ)

映画館の背もたれからネガティブな意識エネルギーが入ってくる事があるらしく、それは、新幹線でも同じことで。。

ひえ～～、

敏感体質の人って気の毒だね～。ちゅうか、私達は影響を受けていたとしても、気づかないで具合が悪くなっている可能性もある訳じゃないけ!?

わお～、逆・ワンダフォル～🌀

(お～何と言う知性の無い言葉)

新しい住まいは着実に先生にとって居心地が良い環境をゲットしました。後は、私のヒーリングのやり直しだけですネ！

わっふお～👉楽しみっす。

ちゅうか、霊能者の話からかなり逸れてるね。

スクールに入って、3年位経った頃、

どうも、私だけヒーリングに失敗している👤との話を聞いて、だから、変わらないのか。

ちえっ！🌀　しゃあね～な～。

そのうちタイミングをみて、やり直してくれることに決めました。

そもそも、何百人もの生徒をヒーリングして、私だけ失敗したって、どうよ👤

本当に名誉なことだわ。超、恥ずかしい👤

そして、やっと約束の時が来たのでした。

うれちい。うっふん💖

薄明かりの中、

先生の長い指が、

私のアソコを、あ～～～ん。

(今回も悶えるおつもりっすか?)

アソコの正解は・後頭部からで〜す。

生徒さんがヒーリングされているのを見ていると、皆さんリラックスされて🧘
殆どの方が意識を失っています。

私もそうになりたいが、何故に緊張するのか🤔

要するに、気を使っちゃうのか退屈なのか🕒
その両方でございます。

1時間🕒ほどした頃でした。

先生が突然・・・。

先生：「ゴメン！那旺ちゃん、やっぱり無理だわ。私には出来ない。。」
って。

私：「先生、なんで？なんでなの？」

先生：「何だか分からないけど出来ないの。このまま続けてたら、私、死んじゃう」

私：「えっ！そんなことってあるの？何が因果でそうなるの？」

先生：「那旺ちゃんの転生は余りにも多くて、こんなに多くの転生をして来た人は
見たことがないの」

私：「ちゅうことは、私があまりにもカルマが多すぎて、手に余るっちゅう
ことですか？」

先生：「そうとも言える。悪いけど、他の人を探してくれる？それとも、
自分でやるしかないんじゃないかな？」

ショックなあまり、

し————ん

です、わたし。

誰が、私を方向づけてくれる人なの？

誰が、私を癒してくれるの？

誰が私にパワーを授けてくれるの？

でも、これ以上先生にお願いすることは出来ないことがその後ハッキリわかりました。

その後、先生は夜中じゅう、咳き込んでいました。

先生、ごめんなさい。

頑張ってくれたんやろ💧👏



(たそがれて 遠くを観る眼の はかなさよ)
一句できました～先生！

あ～～～あ。。🌈

先生の**失敗作**であった私は、失敗作というより、**型番違い**だったようで私は迷える子羊になってもうた。



「私を方向づけてくれる人は誰なの？」
「私を癒してくれるのは誰なの？」
「私にパワーを授けてくれるの誰？」

魔法学校でもその答えを探し続けたけれど、結局見つからなかった👁️

どこを目指すって？

「そんなの宇宙に方向なんかね～んだよ。」

誰が癒してくれるって？

「はぁ？自分しかないっしょ」

誰がパワーを授けてくれるだと？

「しゃらくせ～、一万年はえ～よ。首を洗って出直しな！」

方向性も、癒しも、パワーも元々あるんだよ。

既にちゃ～んと揃っているんだから安心おし～💎

イイ子。イイ子🐣

って、小学校3年生の時に突然交通事故で死んじゃった
大好きだったおじいちゃんが言ってくれてる気がする。

だよね〜！！

あったりめ〜だよね〜



きた〜〜〜！ホイホイ。。

(ザキヤマも、もれなく付いて来た)

霊能者のお話に進んでいきましょう。

アロマの先生の話のところで、かなりの寄り道をしてしまいました。

また、面白い話があるのでいずれ戻りますからね〜。🙌

私が霊能者に出会った頃は年収が5万円だったと、前に話したかと思います。

霊能者がだんだん人に認められ、勉強会に集まる人数も増えてくるにつれ、
当然収入💰も増えてきました。

収入が増えた一番の要因は、私がアロマの先生に霊能者を紹介した事で、
アロマの生徒さん達が、霊能者のスクールや個人セッションに集客されたのが
大きなきっかけでした。

霊能者が収入が無かったときは、奥さんにはかなり邪険扱われていた様でした。
彼の洗濯物が割り箸でつまんで分けられるくらいに。

ですが・・・。

収入が増えるに従って、夫婦は仲良く💖なって行きました。

良く聞くパターンですわい。

それまで全く無かったセックスが、毎晩欠かさずする様になったとか。

現金なものですわ〜。

(だから現金💰なのか〜)

何故か奥様は私にそのことを何回もニヤニヤしながら話しました。
私が観察するには、彼女は霊能者よりもっと魔女だった気がします。

毎晩。。🔮

夜な夜な、セックスの時に霊能者に魔術をかけていたのかもしれないな～。

きゃ～、いきり立つ～↑ (まあ、お下品な 🌈)

奥さんは、とってもチャーミングな顔立ちをして、辺見えみりみたいに可愛いお顔です。



そのうち段々と奥様が霊能者の仕事に深く関わってきて、彼女が主権を握り出しました。
奥様は私に感謝してくれていた為に、いつも謙虚な態度で接してくれていたのですが、
段々、顔つきがおかしくなってきました。
いくら美人な形状であったとしても、魂の方が優先して顔に現れてしまいます。

それにつれ、霊能者の言動もおかしく👹なってきました。
人をコントロールするような動きにどんどんなっています。
私は、何度か警告は発しましたがすでに全体が見えなくなっていて、
聞く耳がちょん切れてしまっています。



魂が乗っ取られ始めているのがよくわかりました。
ですが、まだ周りの人は気づいていません。

私は、あと長くて3年の命かと感じていました。
命というのは、**肉体的ばかり**とは言えません。社会的や、能力的命も含まれます。
この時点で、あとは天にお任せ。私は彼らへのサポートから退きました。
それからやはり3年後に、傷害事件で夫婦とも逮捕された。
カンが当たりすぎですまん。

私がイギリスにお勉強に行っていた時に、
2週間ほどワイドショーで繰り返し報道されていたそうで、
信者さん（いつの間にか宗教法人になっていたのか？経緯は簡単に想像できる）を
下宿させて下働きさせ、コントロールした上に暴力とハレンチ行為をしているという
映像が連日放映されていたようです。

友人が週刊誌の一部を転送してくれました。

その時の写真をみたら、

「奥さん、どうしちゃったのよ？」

っと思えるほどの、超ミニスカートとケバいい化粧で映っていました。

ありゃりゃ～



（あけみちゃんソックリに変貌していた）

私が日本に戻った時には、報道はすっかり落ち着いていた為に記事を一切、
目にする事は無かったです。人は、本当に弱いものです。

お金やセックスや権力は、人を簡単に狂わせます。 🧑

2章 霊的にセクシーなタイプってどやさ？

霊能者にすごく助けられたエピソードについてもお話を進めて行きますね。
アロマの先生が率いるヒーリングスクールのメンバーが霊能者の勉強会に
参加していた時、霊能者が突然こんな事を言い出した。

「このメンバーの中で、一番霊的にセクシーな人って誰だと思う？」

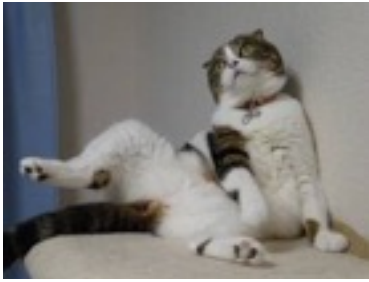
それを聞いて、肉体的にセクシーな人と霊的にセクシーな人の違いがあるのすら
考えてもみたことがなかった。

「えっ！だれ？誰だろ？🧑」って皆で盛り上がりました。

15人位いたメンバーの中から、霊的セクシーな人の候補を探すのに、

あ～だのこ～だの、との言って盛り上がりました。

で、霊能者に答え合わせの結果を教えて貰ったら、皆がひっくり返るくらいに、
本当にビックリしました。



ハレホレヒレハレ〜🎵

(本気で古いフレーズですたい)

該当者はメンバーの中で一番の年長者で、65歳位の独身の女性だった。
しかも、本人も言っていたが、異性とは相当縁遠いタイプの女性だったので、
本人も含めて全員のけ反ったのでした。

私は霊能者がいい加減な事を言っているのだと思っていたけれど、
その後ソレが検証される事態が実は起こったのだった💡



その霊的セクシーさんの雰囲気は、
ムリくりセクシーに見せるとこんな感じかな？

(暴露してすまん、Sさん)

そういえば、かつて私は聞いた事がある。
霊体にセックスをされてしまって悩んでいる女性の話を。

一人は、友人のお坊さんから聞いた話だけれど、彼のお客さんが訴えた悩みは、
毎晩男性の霊体がやって来て、勝手に体に侵入してきて犯されてしまうとの事だった。
お坊さんは独自のお札を作っていたので霊祓いのお札を頼まれたそうだ。
でも、お坊さんがいうには、

「那旺ちゃ〜ん言いにくいんだけどさ〜、
どう考えても、男としては絶対にxxなんだよ。
悪いんだけどさ〜、裸で彼女が迫って来ても絶対に僕はお断りするタイプのおばちゃんなんだよ！」

って言っていたのを思い出した。

実は、私も同じ経験があります。
いや〜ん、🎲犯された経験じゃないわよ。

つまり、同じ様な経験をした人が2人現れました。
中には犯されるまで行かないけれど、上に乗っかってこられたり、
息を吹きかけられたり、キスをされたりという経験者を含めたら、
結構な人数になるかもしれません。

その2人に聞いたところ・・・。。
犯される時って、無理やり足を開かされてどうにも抵抗が出来ないで入ってくると
言っていました。足を二本そろえて引きづり回された経験もあるって。
本人は固まって動けなくなっちゃうらしいです。
だから、やられるがままらしく、いつ来るかわからない相手に怯えていました。
まったく！たちが悪い霊です。
バカたれ👊

でね！私が言いたい事はそういう話をしたいのではなくって、
2人とも、お坊さんの言っていた話と一致していたし、女の私から見ても、
とても、セクシーにはほど遠い感じの女性だったので、
霊界ではいったい何が起きているのだろうと頭を傾げてしまった。

霊的にセクシーってなぁに👁️💡❓

相変わらず、変なことに遭遇し、変なことを真剣に考えてみたり、
人生そのものに突然つまずいたり・・・Uターンしたりと・・・、
こうやって行き先がわからないままブログを書いています。

最近クライアントさんにアスペルガーがちょろっと入っちゃったかも・・・
風な脳みそパターンの人が増えていますが、
他人の行動を見て、・・・初めて・・・もしや、私もソレ??

「私も、もしや・・・近い？」って感じ出している今日この頃です。

まあ、いいっか!!

っと、気付き出しながらも。。開き直るわたし。ある意味ギフトだと思っておこう。



(気にしない気にしない)

3章 中国大連で霊たちのお出迎え

ヒーリングスクールで、中国に行く話が浮上しました。

何故に中国？

それは、アロマの販売会社タイムメリディアンという会社の社長による人脈の流れで、中国の大連という市に行くことになったのです。



ヒーリングスクールのアロママッサージを大連の病院に取り入れて貰えるプロデュースがなされたのと、あるアメリカ人の先生をお呼びして、心理学の勉強をするプログラムが組まれました。

ですから今回の中国の旅は、大連の中でも一番大きい病院でそのプロジェクトが発展するかどうかの大事なイベントでした。

ヒーリングスクールのメンバーは、20～30人位だったでしょうか、結構大人数で中国に行くことになりました。

私はと言うと、面倒くさがり屋なものだから、

中国に行くなんて面どっちい👹事はしたくはありません。

そもそも、寒いところ❄️は嫌いだしね。

その時の私はアシスタントはしていなかったので、いち生徒でした。

つまり立場上は、行くも行かぬも問題ありませんでした。

だから、私は行かないことに決めていた。

だけど～、私の同期のＹちゃんがやけに誘うんです。

私は「絶対に行きたくないから行かないからね！❄️」と

Ｙちゃんに何度も言っているのに、何が何でも行かせようとする雰囲気。

「那旺ちゃん、なんで行かないの？」

「那旺ちゃん行かないとつまんない。」

「みんな行くんだから、那旺ちゃんも行かなきゃダメだよ！」

っと、顔を見れば言うてくる。

私は、「どうせ行ったらってロクな事無い気がするから、嫌だ！」

っとやけに抵抗し、かたくなに断っていた。

Ｙちゃんはいつもさっぱりしている子なのに、「しつこいな～」👹と思っていたら、

あとで分かった事だが、真面目で優しいＹちゃんは、

私を中国に行かせる様に先生に頼まれていたので、一生懸命だったのだ。👉

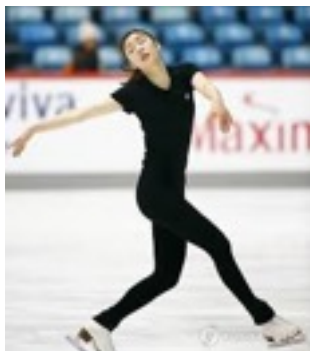
結局、仲良しのＹちゃんの頼みを断りきれず、大連に行くことを承諾してしまった。

ここからが、

も～～大変なストーリーに巻き込まれていく序章になったのだ。

あ～～～～あ👹

なんでこ～なるの↑



逆・欽ちゃん



逆・キムヨナ

陰陽のバランス、バッチリっす。

さて、ヒーリングスクールの一行様が北京空港にご到着で～す。
何だか知らないけれど、中国人が到着ロビーで旗を振って歓迎している。
それも、びっくりなのは大人数の人たちが・・・100メートル以上の旗振り行列で。
なんでやろか??
まるで芸能人を待つかの様に・・・。
この国の風習は、誰にでもこんな事をするの？

でも、明らかに私達に旗を振ってお待ちかねをしている風情。
よくわからんのう。
結局、うちのメンバーはその意味が解らず、私もいまだに理解できていない。

さあ、北京から飛行機を乗り継いでさらに大連まで1時間ほど飛行機に乗る予定です。
そうこうしていると、タイムメリディアン社の社長が、
「飛行機が突然欠航になった」と、
顔をハンカチで汗を拭き拭き説明しに来てくれた。

特に天候が悪いわけでもなく、なんの手違いだか分からないけど、
結局、私達はバス🚌で大連まで長旅をする羽目になったのであ～～～る。🏠
バスの道のりは4～5時間と言いたい所だが、
さらに、アクシデントが・・・。

高速道路も閉鎖されたという。
その理由も、いまだに分からない。
天候は至って良いのだから。

そんな2連発アクシデントが続いたせいで、大連への道のりは7～8時間の行程となってしまいました。

予定通り大連まで飛行機で行けたら、**あんなこと**は決して起こらなかったのに。



本当に酷いガタガタ道です。

道はグニャグニャ曲がってるし、このまま8時間はないやろ。👤

これが中国ちゅう国か！📄日本では考えられない。

途中には、トイレ🚽は全くありません。

オシッコは全て野ションで済ますしかないんです。

そうなんです。

野ションで・・・。



その**野ション**で大変なことが起きてしまったのです。

さあ、野ションの時間で～～す。皆さんバスから降りてくださ～い。

あたりは真っ暗です。

ところどころ陣地を探し、皆で仲良く「シーシーしよ👉💡」



ほんのチョットのオシッコタイ〜ム🕒でした。

かなり時間が無いらしい。

「皆、バスに戻りましたね！隣に座っていた人は、ちゃんと居ますか〜？」

社長が仕切ってくれている。

生徒たち：「は〜い、大丈夫で〜す」

社長：「それでは、出発しますね！」

っと、順調にバスは走ります。

ふと、私の横を見ると・・・。

隣に座っているSさんが、なんか態度がおかしいんです。

Sさんは突然、手をあわせて顎はガタガタ震えながら拝みだしました。

あわせた手は前後左右に動かして、少し涙がこぼれています。

「うっう〜ごめんなさい！ごめんなさい！」って、

何とも言えない程の大きな罪悪感を感じている様に観えました。

突然Sさんに何が起こったのでしょうか？

その時、アロマの先生が血相を変えて、

「みんな、窓のカーテンを閉めなさい」 と言った。

生徒たちは、

「キャー！」 っと悲鳴をあげた。

私には何が起こったのかちんぷんかんぷんなのだ。



先生👉 一句出来ました。

🎵野ションして〜、🎵

🎵戻ってみればご婦人が〜🎵

🎵お〜ションション、オションション🎵

コレ、和歌でも文学でもないっす。

あ〜〜窓の外には何と言う事か！！

なななんと、野ションをした場所から霊が私達に付いてきて集合し出したのだ。

走っているバスの窓から、山盛りの幽霊が窓に張り付いて覗いていた・・・👤
・・・らしい。（実は私には見えなかった）

先生：「那旺ちゃん、早くヒーリングをしなければ！！」
と先生に促され、先生と二人でヒーリングを始めた。

先生：「双子の子供2体と、その母親の霊が、Sさんに乗り移っているわ。

それだけでは無さそうだけれど、今は分からない。。💫」

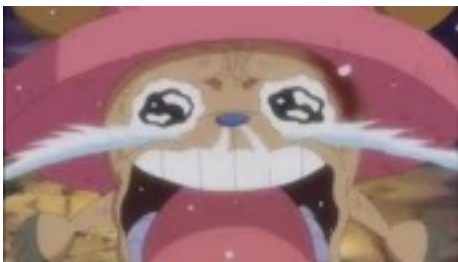
Sさんは顔色が蒼白になっている。

これは、相当ヤバイかも・・・・。っと直感でわかった。

先生と私は集中してSさんにヒーリングを送り続けた。

タイムメリディアンの社長は、彼にとってヒーリングというものが斬新だったようで、
私たちの迅速な態度を見て、感心してくれたみたいです。

「僕は本当に感動した！！💫」



って言いながら、私たちがヒーリングをしている姿をずっと見ていてくださった。

Sさんは、なかなか意識を戻さなかった。

「あ〜、悲しい。ごめんなさい🎵」

って、飢えて死んだ子供のお母さんの顔になって手を併せている。

本当は自分も死んでいるのに霊は気づいていないようだ。

このお母さんは戦後60年過（後でわかったことだが）ぎても、まだ同じ場所で同じ感情で苦しんでいるのだ。

感情には時間がないのだ。過去も未来も今ここにある。

それから、1時間もしたら、

先生：「2人の子供と母親の霊は静まったようだわ。でも、あとは・・・。
とりあえず今日はこの位にしましょう」

っと先生がいうと、

手を併せて震えていたSさんは手が離れてグッタリして寝てしまった。

そして私たちもいつの間に寝た。

あとでSさんに聞いたら、

先生の仰っていた通り子供連れのお母さんの霊が入ってきて、
お母さんの悲しみが伝わってきてどうしようもなかったと言っていた。

野シヨンをした道は、戦中、戦後に兵隊さんたちが満州から引き揚げようとしたが、
途中で食べ物が無くて飢えや寒さ、病気で行き倒れになったという場所だった。

要するに、私たちが通ってきたバスの経路は

戦争の引揚者が行き倒れになった道を、ずっと通ってきたことになる。

飛行機も、高速道路も、

私達にわざわざ使わせなかった意味が、これを聞いて何となく分かった。

「迎えに来てほしかったんだね！」

「苦しみを分かち合って欲しかったんだね！」

「人生をもっと楽しみたかったんだね！」

「何か伝えたいことがあったんだね！」

「誰かに言い残したことが有ったんだね！」

「生きてきた証を思い出して欲しかったんだね！」

きっと霊たちは自分が死んだことに、まだ気づいていないのかもしれない。



辛かったね。戦争の為に・・・。

愛しています ✧

うっすら曇っていた何かが段々、見えてきた。
北京から大連への飛行機が突然欠航になった事も、
大連行き的高速道路が天候不全でもないのに閉鎖された事も、
私が中国行きを決める時に大連は寒いし、中国に行ってもきっとつまらないだろうと
決めつけて、頑なに中国行きを断っていた理由も何となく見えてきた。

それは、戦中戦後と、日本人が満州から引き揚げ時に通った道のりを、
私たちヒーリングスクールのヒーラー達が、今の時になって再体験しなくてはならない
役目があったのだろう。
先生が私を中国行きに強く誘った理由も、これから先、よく分かってくるのだー。

さて、8時間の霊と一緒にバス監禁事件は間もなく終えようとしています。
そろそろ大連の市内に入りました。急に街並みが変わった様に感じます。
大通りの両サイドに旗¹を振っている中国人が沢山います。

今日はマラソン大会でもあるのかな⁰⁰
ニコニコ(^^)とフレンドリーな笑顔をして旗を振っています。
あちらこちらにも垂れ幕が掛かっています。
何て書いてるんやろか？

アレ〜、あれれ〜。

「ヒーリングスクール歓迎!!」

って書いてるね〜。

それって「どなた？」...

「どなた」じゃね〜だろうに、御前様達じゃる！



**なんでだろう、
なんでだろう、
なんでなんでだろう〜。**

この沿道の旗振りは何百メートルもずうっと続いていた。
どうやら、今回ヒーリングスクールに課せられたプログラムの中には、
大連の病院とヒーリングスクールの共同プロジェクトを立ち上げる為のキーマンがいた。
その方は大連病院の医者でもあり、大連の副市長さんでもあったので、きっと市の絡みで

大連市民の皆さんに、ヒーリングスクール歓迎の旗振りの司令がされたのだろう。

それにしても、こんなの初めて。

バッサバッサと旗振りされて、凄い一体感です💖
気分良いような、そうでも無いような複雑な気持ちっす。

これから心理学のお勉強やら、観光やら、美味しい食事やら
美味しいデザートやら🍰、飲茶やら、美味しい食事やら、
デザート🍰やら飲茶やら、美味しい食事やら...
それ言ってる終わらないでしょ🙄

中国のお食事は安くて美味いっす。サービス悪いけど🤨
でも、さすが8時間の霊と一緒にバス監禁事件の疲れは、皆さんの顔を見ればわかります。
目の下がクマだらけになっとります。



ぎょぎょぎょ!!

みんな憑依されてるんやろか？

そう言えば、バスで隣に居たSさん・・・どんなやろか？と目👁️を向けると、

やっぱりヤバイっす。

それも、かなりです。

生きてない感じ。👤

と、と、と、👤

とりあえず、今日はホテルで休む事にしましょうね〜。

二人の子供と母親に取り憑かれてしまったSさんの
その後はどうなったんやろか？

ちゃんと寝れたかな〜。

昨日は衰弱して顔が人間っぽくなかったし👤

今朝は大連の病院で心理学のお勉強をする日です。
ホテルのロビーに集まって大連病院に移動するのですが、
あっ！Sさんを見つけました。

案の定、よれよれで目👁️がくぼんでいる。
ホテルで一人で寝ているのがイヤらしく、無理して来たんですって。



Sさん:「那旺ちゃん、昨日はありがとうね💖
まさか私にあんな事が起こるなんて、本当にビックリしたわ。
あの時は両手がくっついちゃって、勝手に祈ってしまったの。
それが止まらなくて、何が何だかわからない。」

でも那旺ちゃんと先生にヒーリングして貰って、少しづつ落ち着いたけど。
昨日から下痢と嘔吐でお湯を飲んでも、もう胃は空っぽで何も出ないはずなのに、
吐き気が止まらない。
お医者様から高い漢方の薬を貰ったけど、全く効かない。
これから大連の病院で診察して貰うつもり・・・」

私:「そうだったんだね。でもこれから病院にお勉強しに行くんだから、安心だね！👩🏻」

4章 霊たちを浄霊

大連の病院は大きかった。
日本ではとても及ばないほど、ベットの床数が多いんだよね。
ところが、心理学の講義が始まって直ぐに病院で診察をうけた
Sさんの具合が悪化し出した💧
何故か、始まったばかりの講義中に私は先生に呼ばれ、
Sさんの面倒を診るよう頼まれたのです。

病室に行ってみると、Sさんは殆ど意識を失っていた👤
彼女が寝ていた部屋を見た時、私は霊安室かと思った。
何しろ寒い❄️ 室温は0度。布団は湿っていて分厚くて重い。



(寒いぞ、ブルブル・いったん木綿・ひ～らひら～～)

医者も看護師も見当たらず、
私はいったい何をすればいいのだろうか？
生気の失ったSさんの顔を見て、このままでは亡くなると思った。

何とかしなくては👤
何で、こんな深刻なSさんを残して、皆は勉強なんかしているの？
ヒーラーなんだから、こういう時こそ結束して彼女をヒーリングして欲しい。
先生は何でそばにいてあげないの？
と思いつつも、
今私が出来る事はSさんの足から腐敗した様な物質👤を取り出さねばならない。
仕方がない、一人でやろう。。

この時私はまだ魔法学校には行っていなかった頃だったけど、
霊能者の近くで、彼の除霊するところを何回も見ていたし、憑依された人の
人生や健康がどんなに辛いものなのかを聞いていた。

そして、特に死霊より生霊の方が高度な技術を使っていることも目の前で見たし、👤
霊能者のする除霊のサポートもさせて貰った事があった。
霊能者の除霊を見ていて、たまにめっちゃ迫力が有るときもあった。
一体や二体くらいの霊なら穏やかに除霊を行うのですが、
30体くらいの集団になると、霊能者の顔は普段**デレデレした顔**をしているだけに、



その時の**厳しい顔**は際立つのだ。

「お前らのいるところではない。」
「去れ！」



って、一喝。凄い迫力。。

ビビるでます。

私が、今からそういうの・・・、するってか？

いやいや、キャラじゃないっす。。

私、大丈夫かな～？生きて無事に日本に帰れるかな？

先生は何故来てくれないんじゃないか？

私だってみんなと同じ様に講座のお金を払ってるじゃん👓

そう言えば今朝、気になった事があったなあ。

大連病院に行く前、ホテルのロビーにヒーリングスクールの生徒たちが集合しました。

そこで私とSさんがお話しをしていた時、10メートルくらい離れたところに、

まだ面識のない3～4人のヒーリングスクールのメンバーが、

こっちを見てひそひそ話をしていた。

その時、彼女達はウチワで、こっちの方をはらう様に、

「あっちへ行け！」

みたいな仕草を何回かこちらの方に送ってきた。

まるでSさんがエボラ出血熱の感染者であるかの様な仕打ち。

いくら普段「愛が💖愛が💎」とヒーラーらしき事を唱えていても、

こういった窮地の時こそ、その人の本質が見えてしまうものだ。

もしや、今・・・、私が・・・、

霊安室みたいな病室に一人でいると言うことは？

あれ～、

そういうことなの～？

誰も近づきたくないってか？？？

まさか～。。

も～、人の事なんてどうでもいいっす。

私が死んじゃわない程度に、Sさんに私の出来る限りの事をさせてもらいまひょ。

私は祈った。ここに光を降ろす様にと。

「暖かい光はとても気持ちがいいよー。

これが本来のあなたたちがいるべきところなんだよ。

だからもうゆっくり休んでいいからね。もう無理しなくて大丈夫。

もうあなたを恐がらせたり、悲しませるものなんて、何もないんだから。」



あまりの寒さに私は集中力が途切れる事が何度もあった。

マフラーをして、帽子をかぶって、手袋もした。

あー、しゃむいぜ、しゃむい。

そんな時、アレ～、何だか暖かくなって来たじょー。

部屋は相変わらず寒いけど、体がヌクヌクしだした。

そうしたら、Sさんの顔色に赤みが出てきた。



あっ！Sさん、これで生き延びた!!

やったー！！

時計をみると3時間🕒も既に経過していた。

後でわかったことだが、この時に私のSOSを遠く日本にいた霊能者が受け取って、バックアップしてくれてた時間だったのだ。

こういう時こそ、霊能者の存在は頼もしいものだ。

頬に赤みがさしてきたSさんは目を覚ました。かなりスッキリとした表情をして、彼女のミッションの一つを終えたかの様な安堵感を感じたようでした。

あーあ、やれやれと思った時は既に心理学のお勉強は終わっていた。

私はお金を払ってまで何のためにここに来たんやろか？

も～～イヤミ😏を言っちゃうもんね。

とり憑かれてしまったSさんは、薬ではやっぱり効きませんでした。

漢方でも無理なんだ～💧。

処方する人が、オバケ👻関係に詳しい人だったら、きっと何か良い薬草を見つけてくれるかもしれないけど。

「それって、もしやヘンブかな？」っと頭を過ぎる。

(独り言ですが・・・)

この体験で一つ気付いた言葉ある。

私が、必死こいてSさんにエネルギーを送っていた時は何の変化も感じられなかったけど・・・👁️。

「全てのものは、愛されて当たり前なんだ💕」

と思えた瞬間、何かが変わり・・・、その時点で、今回の私の役割が終わったかのように、Sさんの足元でコトンと眠って💤しまっていた。

気が付くと武者震いするような寒い病室なのに身体が暖かく🔥になっていた。
そして、Sさんの顔に赤みがさした。



↗ お～良い感じですね～Sさん！

(本人、きっと怒るかも・・・。ピグモンよりは似てる→もっとヤバ👤)

Sさんが復活した頃には、既に心理学のお勉強は終わっていたから
あとはホテルに帰って寝るだけだ。

食いしん坊の私でも、この時は何を食べたのか全く覚えていない。
というか、この旅は、

「私の💕憑依霊対応マッスルを鍛える」為の闇討ちレッスンだったんじゃないの？
とさえ思えてくる。



(筋肉筋肉鍛えまひよ。。筋肉まん)

「はいはい、ありがて～んだよ～」👤

こんな経験があったから、私は迷わずして魔法学校の道に進んじまったんじゃないか💡

(駄目よ！ 人のせいにはなりません🙏)

人生のシナリオは面白いくらいに展開していくね～。

だからこうやって、ブログでも伝えられるっっちゃうことね！

(内容に事欠かなくてありがて～)

そうそう、そういえば、先日イギリスから一時帰国されている※溝口あゆかさんからこんなことを言われてもうた。

「こころがスーッと軽くなるさとりセラピー」

という新刊を出されたので見てみてね！

あゆかさん：「那旺さんのブログ、面白いわ～！

それにしても、ああいう体験をたくさんするって、何なんでしょうね？

私にはああいった変わった体験とか、変わった人達とか、周りに現れないもの。

それって那旺さんの方から選んでいるのかしらね？」

私：「今考えるとそうとも言えますねえ。きっと、そうなんだと思います。

周波数が同じ人しか出会わないとも言えますが・・・。

あえて、恐いもの見たさで、人間の魂の本質を知りたくて知りたくて

しょうがなかったのだと思いますよ。

たくさん酷い目に合うところに飛び込んでみたけれど、

良かったことは、あまりにもビックリしすぎて、起こる問題に評価判断しても解決にならない事に気づきました。

だから、ちょっとやさそとの事では驚かないし、ビビらないようになったのは、セラピストの資質を上げるには良かったんじゃないかな・・・。」

あゆかさん：「それって、セラピストにとってとっても大切な事よね！👍」

そうなんですね～。このストーリーは私の魂の成長の為にプログラムされているのだ。

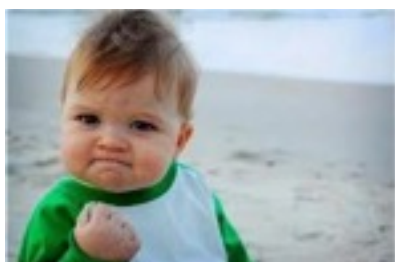
ファイルされたデータを開けてみない事には、上書きさえも出来ないのじゃ。

わかりましたね！！

皆しゃんもご一緒にお返ししましょう。

「せ～の、は～～～い。👏」

さて、Sさんの命もとってあえず大丈夫と言うところまで漕ぎつきました。



那旺ちゃん、よく頑張った！

と、自分で自分を絶賛するじょ。。

誰～～も褒めてくれなかったけど。

Sさんだけは、本当のところを解ってくれているのじゃ。

さて、ホテルに帰って～～と、

今回の旅で唯一の救いは、一人部屋だったから有りがたい。

お風呂でも入って～。ゆっくりゴロゴロするか👶



グウタラひひひ～んは、うれちいのら。

お風呂でリラックスしょ！っと。。



ベロンちょ。。 お耳もビヨヨ～ンでリラックス。。👂

うさぎが一匹、うさぎが二匹。百匹数えたら寝ちゃおうかな～。

(ちゃうちゃう、お嬢ちゃん👧)

うさぎは一羽、二羽って数えるんだよ～。は～い先生！)

ぎょ🐟↑また一人芝居が始まっていた

それにしても、あ～～極楽・ごくらく。アンヨものびのび。

くうえ～～、たまらんの～～

今日はゆっくり寝よっと。

っと思っていたら、お電話が・・・リリリ〜〜〜ン📞

先生の当時のアシスタントが、
「那旺ちゃん、何やってんの？」

私：「お風呂入っている最中だよ」

アシスタント：「何でお風呂なんか入ってるの？先生もみんなも待っているのに。」

私：「え！！そんな約束したっけ？」

アシスタント：「そんなの、約束してなくても集まるに決まっているでしょ。

も〜相変わらずおバカなんだから」

私：「そんな法律あったんだ〜。知らなかった。

頼む、聞かなかったこと👂にしといて。私、眠いし。。」

アシスタント：「もう、バレているよ。先生の部屋で電話してるんだから。」

先生：「那旺ちゃん、どういうこと？」

っと、大御所が電話に出て来くさった。

（おっ！言葉を間違えた。「出てくださった」だったぜい。🤔）

私：「け〜〜、了解いたしやした」

私のリラックスタイムが消滅してまう。

っという、文句ったれの思いを切り換えて〜。。👤

えっへん、参上いたしました。



にんにん。忍耐ハットリくんでしゅ。

先生の部屋には、6〜7人の主要メンバーが・・・そこに・・・。

あれ〜あれれれ!?!?

みんなどうしたニンニン🔍 顔色悪いね？何かあったの!?

先生：「那旺ちゃん、あなたにはこの状況が分からないの？」

私：「みんなが頭に、氷や水晶を乗せているのだけは、見ればわかる」

そこにいる全員：「ダメだこりゃ～～」

っと・・・・・・・・。

心の中の私の声。。

↓

「来いと言われたから来たのに、みんな辛気臭い顔しちゃって挙句の果てに、駄目だこりゃ！、ってか？」

先生の部屋に入ると6～7人の主要メンバーが、気怠そうな顔をして、ベットに横になったり、壁にもたれ掛ったりして、頭には氷や水晶を乗せていた👤



あれまあ、いや～な雰囲気のところへ呼ばれてもうた。

私：「皆、なにしてんの～～？」

みんな：「那旺ちゃん平気なの？こんなに酷いエネルギーの所ばかりの行程で、調子悪くならないの？」

私：「ううん～、頭に水晶を乗っける程じゃないよ。。👤」

みんな：「いいよね。鈍感な人は・・・」

ゲロ👤

皆さん、ご機嫌悪そうです・・・。

も～～、ハヨお部屋に帰りたいな。

自分のお部屋に帰りたくなった時にやることは、

コレっきゃないでしょ!?



ふふふ、
笑わすセールスマン。

特技は下ネタ漫談。

お姉さま達を笑わせて、さっさと帰らせて貰いまひょ。

それでは、ご期待に応えて、

(誰も期待なんぞしてないわい 🤪)

テケテンツク・テケテンてん。。 🍑



皆さん、不意打ちされて、
思わず・・・

「クッククク 🤪」



身振り手振りで変顔して・・・

「わっははは 😄」



しえけるべえ〜びい。

「しえ〜。おもしろい 😊」



しもネタ満載！

「ウウ、お腹が苦しい・・・。」

こんな顔でどうだ！



「きゃ〜、もうダメ苦しすぎて、那旺ちゃん止めて〜」

おっと！サンキュー。

座布団一枚いただき〜、っとくりゃ。



皆さん、頭の上の水晶も氷も外して、

おしもがチビっているかも？くらい

に腹を抱えて大笑いしとる。

おっ！顔色チェック〜！👍

オーラ、チェック！👍

眼の反応、チェック！

全身OK↑

こういう**憑依の外し方**って、円満解決でいい感じだね👌

この時から私は、

💎**癒しの下ネタセラピー**をすることの楽しさを覚えちゃいました。

まさに苦し紛れに実行した、**現場で覚えた浄霊**ですわ。

これをきっかけに、

笑わせ過ぎて😂

クライアントさんの概念を覆す👊

カウンセリングテクニックが一つ

増えちゃったもんね。

脳みそ攪乱作戦💣とも言えます。

「笑いはオバケをビビ👤らせる」

っちゅう、

格言がこれで出来てしまいました。

本霊が笑ってくれると、

憑いたお方たちも、ついには**昇天**して行かれました。

この方法、👤**八百万の神々**👤に、

おせーてもらいやした。

実際・・・これで、いいのら。。

中国研修旅行も、終盤になり、

「笑いはオバケをビビらせる」

という立証が出来てしまった。

今回の奇怪な事件がきっかけで、

「笑わせ過ぎて👤クライアントさんの概念をぶっ壊す👤、

と題して、

脳みそ攪乱作戦💣テクニック、

を修得出来ましたわ。

転んでもタダでは起きないのがDNAでござんす。

ところで、羽生君、あのアドレナリンの出し方凄かったよね。

倒れても美しい。（不謹慎かもしれんけど）



とにかく逆境に強い。

そうそう、近々、「**逆境に強くなるぞ！**」を学ぶ心理学でもお話しすることにしましょかね～。

話は中国大連に戻りますが、研修旅行のお話はおよそこれでおしまいっす。

その後は、お買い物や美術館巡りをしました。

先生はかなり疲労困憊の様で、美術館の前で立ちくらみを起こし倒れてしまわれました。

それくらい、今回の旅は皆にとってハードだったのだと思います。

それを裏付けられたのが、日本に帰ってからの事。

ヒーリングスクールのメンバーの殆どが、体調不良の為に霊能者の所へ行きました。
(今はハレンチ事件で捕まっちゃった霊能者ですが、その時はまだまともです)

霊能者いわく、北京から大連に向かう道のりで
私達に霊が乗り移ったとのことでした。

つまり、それは戦中戦後に日本人が満州から日本に引き返そうとして、
途中で行き倒れになってしまった道です。
なぜに飛行機や高速道路を止めてまで、私たちがそこを通らなければならなかったのか！
それは、沢山の浮かばれない霊が救いを求めて、私達を頼りに憑いたとの事だった。

さて、私が今回霊能者シリーズで言いたかったことが、

まだ言えてないのだ。
相変わらず脱線まくっています。

話を元に戻すと、Sさんが**霊的セクシー度**がダントツに高いと、
冒頭に霊能者が言っていたのを覚えているでしょうか？

➡ 霊能者シリーズ12を参考にしね！



／これは、Sさんの霊的セクシー度ね。



肉体レベルではこんな雰囲気。
Sさん、おちょぼ口で可愛いっしょ？
(しょうもないフォローですまぬ)

霊能者がその事を教えてくれたのは👁️、
まだ中国の研修の話が一切出ていなかった時でした。
で〜、今回それを立証することが起こった訳です。

皆さん、何となく想像できますか!?

霊的にセクシーってどういう意味なんやろ？

つまり、肉体的にも雰囲気的にも
Sさんは特別にセクシーとはいえないタイプなのだ。
実際のところ真面目そのものです。
それに、エッチ関係には縁のない生活を送っているし、
淡泊で願望もないらしい・・・。
って、本人がそう言っている！
(潜在意識の奥底までは知らないけど)

という状況証拠の中で〜、
霊能者が何をもって、Sさんが霊的にセクシーだと言ったのかは、
今となっては分からない。

この時期から数年後、霊能者の奥様が勝手にブチ切れて
縁を絶たれてしまい、霊能者のその後の消息は、
ワイドショーのスクandalで知ったのだった。

だから、
「**霊的にセクシーってなあに？**」
なん〜てことは、今となっては聞くすべもない。

さて、霊的にセクシーの話に戻りますが、
前にも書いたけれど、霊に犯されてしまった体験がある人の殆どは、
Sさんと似た感じで、特にセクシーだったり、エッチっぽい人でもなく、

あえて言えば、
控えめで真面目で引っ込み思案なタイプの人だった気がします。

そうなんです、
私と正反対のタイプです。
(ここでは私のことはどうでもいいのじゃ🙏)

年齢も50〜60代です。
美的な女盛りを微妙に過ぎたとも言えるし、

最近流行りの超熟女🍑とも識別出来るが、
明るいところで裸になると、
だいたい**難あり**（きゃ〜💩）になってくるお年頃でもありんす。

あ〜〜ん、わたし、反省してます。
お腹のところが、最近だら〜んになってきたじょ。



あ〜、腹くるしいぜい。

さて、話は戻って、
霊能者シリーズの ➡14と15を思い出してください。
（野シヨンの経緯が書かれています。）

今回私達が、バスで大連に行くまでの間に、
当然何回かのトイレタイム🚽がありました。

と言っても物理的なトイレはなく、おしっこするのは野っばらです。
あたりは隠れる所もなく、
真っ暗なので、懐中電灯💡を照らしながら野シヨンするのだ〜。
みんなで一緒にシーシーしました💦



後で分かったことですが、野シヨンをしちゃった場所は、
かつて、戦中に日本人が満州から引き上げてくる道のりだったのだ。
困ったことに、そこで野シヨンをした時、
ヒーリングスクールの生徒達の殆どが霊に憑かれて💀しまったらしい。

だから、みんな、ダルそうでご機嫌が悪かったのね👹
その中でも、Sさんは特別だった。

戦中に二人の子供を道中でなくしてしまった母親と、
その子供の霊が乗り移ってしまったのだから。
このストーリーは既にブログに書きましたが、
Sさんの場合は、その親子3人だけではなかったのです。

これは、あくまでも霊能者の見立てをそのまま話すので、
立証できる訳ではありませんが・・・。
それを前提にお話すると、

日本に帰ってから、Sさんが霊能者に除霊をしてもらった時点で、
30体を超える、若い兵隊さんの霊が憑いていたとの事。

霊能者いわく、殆どが童貞の兵隊さんだったと言っていました。
もう、マジでビックリ!! です。

きっとSさんの母性のある優しさに惹かれて、
Sさんの付いて行けば、祖国日本に帰れると思ったのかもしれない。

まだ自分のやりたいことを、成し遂げられないまま、
お国に命を奉げ、若き命が、中国の地で尽き果ててしまったのですから。

私は、兵隊さんにもSさんにも、
感謝しなくてはならない気持ちでいっぱいになりました。🍵

霊能者は、
「だから言ったでしょ。
Sさんの霊的なセクシーさは半端じゃないんだよ。
あんなところでお股を出すなんて、
兵隊さんから見たらドキドキ💓ものだったと思うよ。」

ひえ～～～。

30体・・・しかも童貞🍷。

Sさんは、霊能者から除霊をうける時点で既に体調はかなり回復していた。
ちゅうことは、中国で、死にかけていたSさんにとって、
あの時・・・、
いったい・・・、

どれだけの童貞さんの霊が憑いておられたんじゃるか？

100体くらいっすか💩👤

私は何も知らずに必死こいてSさんにヒーリングしてたけれど・・・。

誰一人とも、童貞の兵隊さんは私を選んではくれなかったぜい。

私はよっぽど、霊的にセクシーじゃなかったんだべか？

微妙な心境。。👁️👁️

こうなったらヤケクソだい🏠

さ〜て、それでは、新企画っす📄

霊能界、セクシー❤️ランキング

最下位 と ブービー👉を

発表しま〜す。

じゃじゃじゃん・・・⚠️

ブービー賞は

「豊岡 那旺さんで〜す」

は〜〜い👏

じゃじゃじゃん・・・⚠️

霊能界、セクシー❤️ランキング

最下位は〜、



ゾンビ？
いや、ちゃうで〜。



喰ったろけ～。



ワタクシ、ガガってます。

霊能界、セクシー❤️ランキング
最下位は、

「久本まちゃみさんで～す。」

やっぱりか！
今の私の実力じゃ、
まちゃみには・・・敵わない。

マチャミのお笑い力、めっちゃ尊敬するしとるです。

<霊能者シリーズこれでEND>

・・・多分👧

私は迷っていました。
魔法学校シリーズと霊能者シリーズのブログを書くことを。。



けっこうヤバイ話なんじゃい

でも掲載して分かった事は、この二つのブログが
皆さんから最も共感して頂けたブログだった訳です。
迷った分だけ思い入れが深かったのだ。

では何故**迷ってたか**というと、
魔法学校シリーズの場合、学校で学んだミステリアスな秘儀を一部明かさない限り、
私の伝えるべき事実関係がお伝え出来ないからです。

それと、一つ間違えれば批判に取られてしまう恐れがあり、
いずれにしても公開するには、私の中で禁忌を破ることになるからなのね。



そういう意味で、**もっと禁忌にすべき事は霊能者シリーズだったのです。**

ここからは、今までのところをちょろっと振り返って、
まとめますね。（しつこいと思う人は飛ばしてケロ）

それは、私が15年以上も前に席を置いていた
ヒーリングスクールの話なのであ～～る。



ヒーリングスクールの30人程のメンバーが中国大連に行った時に話は遡ります。

大連の病院からヒーリングスクールのアロママッサージを導入するオファーがあり、
具体的にその話を進める為に出向きました。

その話と抱き合わせで、心理学の講座を受けるスケジュールにもなっていました。

当時の私はヒーリングスクールの主要メンバーになっていたものの、
旅費を払ってまでこのプログラムに参加する気にはならなかったし、

ある方が提供している心理学にも全く興味もなく、
逆にお金を貰ったとしても行きたくなかったのを覚えています。

単純に面倒臭かっただけですが。。



ぐうたらなんです。わたスウイ。。

でも、一番仲良しのYちゃんから何度も何度も中国行きを誘われて、
あまりにもしつこく誘うので理由を聞くと、

ヒーリングスクールの先生から那旺ちゃんを誘うように頼まれてると教えてくれた。

結局押しに負けて、しかもお金を払って行く事になっちまっただ。



アホやな～。ぐうたら、大好きなによ

中国の空港に着いたあと飛行機を乗り継ぎ、大連まで1時間で到着する予定でした。
しかし天候も悪くないのに突然、飛行機が欠航になり、バスの手配をした途端に、
今度は高速道路が閉鎖され、
結局、ガタガタ山道で8時間の道のりを走らなくてはならない羽目になったところから
話は進みます。

まだ、このくだりをご覧頂いていない方、一度ご覧下された方も、
もう一度、前後のブログをご確認下さいませー。

こちら⇒ [霊能者シリーズ・16・戦争の犠牲者たち](#)

<http://ameblo.jp/naou05/entry-11946928740.html>

とは言っても、唐突に書いたところで
話の流れに乗り難いから、さらに概要のみ話しますね。

ブログを読まれた方はご存知の通り、
参加者はトイレタイムでバスを降りました。

道路じゃないガタガタ道の途中にはトイレなんかありません。
全くの野原の夜道で野ションです。

みんなでシーシーしながら、結構楽しそうにワイワイと、
まるで女子高生みたいに野ションをしました。
それからが災難の始まりでした。

私たちは、[その地に長〜くとどまっている、ある存在達](#)を、
どうやら刺激してしまったのです。
その人ってだあれ??
はっきり言っちゃうと幽霊さんです。

(いきなり来て、野ションだと～。)

静かに暮らしていた霊達からしたら、土足で入られたようなものですね。
そこに居たのは、誰からも自分達の存在を気付いて貰えない寂しい霊達であって、
長い月日の間、時間が止まったままだったのです。

私達が通って来たガタガタ道は、どうやら戦中戦後に満州から引き上げて来た途中に
無念にも力尽きて亡くなられた方達の居場所だったんです。
飛行機が欠航になったのも、高速道路が閉鎖されたのも、
大きく意味があったのでしょうか。
いったい私達に何が出来たのだろうか？
私の席の隣に座っていた60代の女性が野ションの後に不可解な言動や行動になりました。



手を併せしっかり目を閉じて

「ごめんなさい、ごめんなさい」と震えながら連呼している。



涙を流しながら、顔は青ざめてしまいました。

それをバスの中で見ていたヒーラーたちもグッタリしている状態。
要するに、殆どのヒーラー達が憑依されてしまった様だ。

私は何が言いたいかというと、
結局、その地に行く事により、日本に帰りたかったのに半ば夢断たれた兵隊さん達を、

憑依されるという役目を受けて👤、私達は彼らと一緒に故郷に帰ってきました。

彼らの心中を察すると、故郷に置いてきた家族に対する思いや、やり残した事もあったでしょうに。

私たちにしたら、想像を絶する最期だったのではないだろうか。
ヒーリングスクールのヒーラー達は、日本に帰ってから
霊能者に浄霊をして貰う事になりました。

そして体調を快復🔧して이었습니다。

と同時に、中国から帰ってきた霊達も光🌈の元へと成仏されたのです。
実は、ここからが本題なんです。

私の課題はいったい何だったのでしょうか？

それから15年も経って、今回よ～やっとわかったのです。

超、ヤバイっす👤

このブログを書こうとした理由は2つあるんです。

一つは前回②のブログでも書きました様に、

私たちが中国に行く理由は、

- ①ヒーリングスクールのアロママッサージを大連病院に参入させること、
- ②ベイリー先生の心理学を学ぶこと
- ③ちょっとだけ観光する。

という行程でしたが、
今考えるとそんなのは表面的なことだったのだ。

その裏側の私たちの本当の働きは、
戦時中～戦後における満州からの帰国者達を通った（行倒れてしまった）経路を、
私たちがバス🚌で走るとい選択肢しか最初からなかったのかもしれない。

日本に帰りたかったのに

半ば夢断たれた兵隊さん達に憑依されるという役目を受けて👤、
私達は彼らと一緒に故郷に帰ってくるというシナリオ。

そう思うと全が腑に落ちてくる。

相次ぐ理由のわからない飛行機や高速道路の閉鎖が起き、
結局は、兵隊さんたちが引き上げる道を私たちが通ることになったのも、
ただの偶然とは言えないだろう。

中国に行くちょっと前に、私が日本で浄霊専門の霊能者の指導を、
ちんぷんかんぷんなりに受けていたのもタイミングが良すぎる。
だから、ヒーリングスクールの先生が何が何でも
私を中国に連れてくるように促したのも、

この裏のプロジェクトを果たすのに私が行くことが都合が良かったのかもしれない。

何と言っても笑っちゃうのは、
結果的に大連病院のアロママッサージの参入はどこ吹く風か、しっかり頓挫し、
私はこの中国の旅のほとんどは、バスの隣の席で死に至るくらいに
衰弱したSさんの介助に時間を費やし、

しかもベイリー先生の心理学を私とSさんだけ受講できなかった。
観光にしてもヒーリングスクールの先生は、観光先で突然倒れられた。
つまり観光した記憶がほとんどないのが、今回の中国ツアーでありました。
ここまでは私も理解しながらBlogに書いたのですが、
それから15年以上経って、私にも気がついていない課題を発見してしまったのです。
このタイトル「霊能者シリーズの私の迷い」にここで初めて触れることになります。

ここまで、引っ張っておいてごめんなさい。
イライラされる方もいらっしゃるかもしれないね。
でもね、ここまでのプロセスをきちんと書き、理解してもらわないと、



結構怖いよね。

何がって？

私にもよくわかんない・・・👉。

どうやら戦中～戦後に、満州から引き上げて来た途中で、
無念にも力尽きて亡くなられた方達の中には、

自分が死んでしまった事にも気付かずに、
寒い中もずっと時間が止まっているんですね。

もう戦後70年も経っているのに、
霊たちにしたら、まだ自分の人生は終わってないのだと思う。

死しても横井さんや小野田少尉みたいな方達や、
戦争に巻き込まれた家族、女、子供や老人達はまだ存在している。



(本当にご苦労様でした)

結局、彼らの居場所に私たちは野ションとは言え、
訪問する形になり、無意識にもヒーラー達は憑依される役目を受けたことにより、

彼らと一緒に故郷に帰して貰えたのだと思います。



こういう架け橋もあるんですねー。

結果、めっちゃ大変な目にあったけどね。
本当に生きて帰れて良かったです。
私はここで、一生のうちに滅多に訪れる事のない経験が出来ました。

中国ツアーに行く前は、仲良しの霊能者にくっついて除霊のお手伝いというか、
邪魔していたというか、とにかく霊能者に連れられて何度か霊と霊能者が
駆け引きしている場面も見ていました。

かなりシリアスな場面にも立ち合わせて貰った事もあります。

でも、ここ中国には霊能者はいませんでしたから、頼る柱もありません。
何だかわからない見えないエネルギーに、
周りのヒーラー達のエネルギーが低下しているのだけはわかる。

でも、このむりくり実戦させられた体験と、魔法学校での普通じゃない修行が、
今の私のセッションに何らかの役に立っているのは確かです。

だって、変な事に慣れ過ぎて来たせいか、ちょっとやそっとの事では、
あまりビックリしなくなりました。ビビる前に、今、

この瞬間に何ができるか！

最小限のエネルギーで、最大の効果を発揮するには、何をすべきなのか！
スイッチが入る訓練がされました。

でもね、困った事に窮地にならないとそのパワーが出て来ないんですよね〜。
(これも信念体系ですが)

火事場のくそ力っちゃう奴です。

シリアスな場面になると、私の力に見せかけて実は**守護霊が動くらしい**です。

そうと判ると、「**努力なんかしたくね〜よ〜**」と言いたくなるが、
今の私は必死こいている時か、反対にめっちゃフラットな時しか、
守護霊は動こうとはしてくれないのじゃー。

ちゅうかー、私がフラットじゃない時は守護霊のメッセージを
自分の都合のいい様に捻じ曲げて、聞かないのが事実でごじゃる。(エゴは強い)



そして〜、後で痛い目に合うのだー。



ゲロ、ごめんくさい。🤢
(と、顔から落ちる)

さあ、話は逸れまくりなので戻しますが、

霊能者シリーズのブログを書くのを何故迷っているかと言うと、
霊の事を具体的に書くのって、どんなもんだろうか？と感じたからです。

神聖に扱わなくてはならないものを面白おかしく書けないし、
かと言ってシリアスに書いても怖すぎるし、

でも私が一番躊躇したのは、こう言った類の事をブログで書くと、
寝ていた霊達が、これをきっかけに目覚め👁️やしないか
と、嫌な予感がしていたからです。

何故なら、かつてこの事を一度は記事に書こうとしたけど、
どうしても先に進めない……。つまりストップがかかりました。

しかし、魔法学校シリーズを書いた頃からな〜んとなく・・・、
準備OK=許可が下りたのだー。

記事を書いているうちに、もうだいぶ昔になるあの時の出来事が、
どんどんリアルに思い出されて来ました。

そして、大連の記事を投稿してすぐの事です。
私の身体に異変が起きちゃったのだー。



ぎゃー、たしゅけて〜〜。。

私は記事を投稿した後、4日連続のセミナーに出ました。

朝10時から6時まで受講するセミナー中の事です。セミナー中に、

さっきまで何ともなかった股関節の左側に激痛が走りました。

手技の練習をするために、近くに座っている者同士が組んで、練習をし始めてから直ぐのことです。

その人を触ろうと思った瞬間、なにかしらの抵抗があったのですが、躊躇するものなので気にせずに練習をしました。

それから10分もしないうちに股関節がズキズキ激痛が走り、足を引きずりながら少しずつ前に歩くのが精一杯でした。

朝は軽快に歩いていたのに、帰りは障害を持っている状態の歩き方になり、

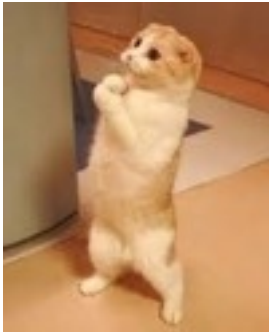
電車でも近くの人が介助してくれる程になっちゃいました。

その時私は、一緒に練習した人の気を受けたかと思いました。

「最近、そういうこと（憑依される）無かったのにな～」

後で分かったのですが、私と組んだ人は、憑依体質だと言っていました。

電気製品を壊しまくりとも・・・。



「なるほど～。見たまんま、私も確かにそう思う・・・」

それから3日間は酷い歩き方をしながら、何とか頑張ってセミナーを通い終えたのでした。

そうこうしていると、三ヶ月コースのセッションにいらしてくれているクライアントさんが、来て早々にこう言うんです。

クライアントさん：

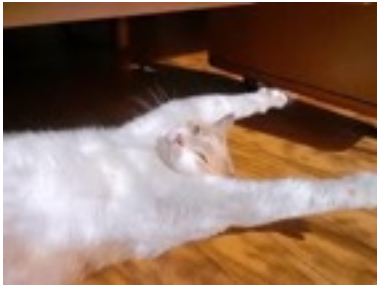
「那旺さん、大丈夫でしたか？」って。。。。



私：「はぁ？大丈夫って、何よ？」

それは、股関節に激痛があってから1週間後のことでした。

確かに私の股関節に激痛が走って3日間というものかなり厳しかったんですね～。
でもその後、何もなかったかのようにスッパリ治っちゃっていましたから、



あ～のびのび～っとくりゃ！

私：「エッ？ 私、元気よ～」って答えました。

そもそも私が股関節を負傷したのを知っているのは、セミナーで会った人だけです。
私自身も喉元過ぎれば何であれで、ついこの間のことでも忘却の彼方ですわ。

(ポジティブ健忘症かも・・・)

↑そんな病名はありまそん)

クライアントさん：

「那旺さん、あのブログ、結構凄くないですか？」

私、記事を読んでいるうちに、ううっ！って来ちゃいました。」

私はてっきりクライアントさんが記事に感動してくれたものと思い、

「へ～、やっぱり凄いんだ！」

って喜んでいたら、それは、「速攻ちゃいまんねん。」とのことでした。



アホちゃいまんねん、パーでんねん。

クライアントさん:

「私、あの記事を読んだ途端にやばい！来る！
と思ってパソコンを閉じたんです。
と同時に那旺さん大丈夫かな？って。」

私:「何言ってるの？私、この通り健康体よ」

クライアントさん:

「それなら良いんですけど、あの記事を投稿した後に中国の道のりに
とどまっている霊達が、那旺さんを頼りに来たんじゃないかと思ひましてね。

でも、今の私は健康を回復したばかりだから、その思いに応えてあげられないから、
パソコンを閉じたんです。」

それを聞いて、私はあの時の突然来た股関節の痛みが、その事と関係があったんだ
と理解しました。

確かに、普通の感覚じゃなかった。

私はここ20年間、歯医者以外に西洋医学にかかった事はありません。
だいたい自分の手技=それはヒーリングや量子エネルギー医療により自己解決出来ている
のですが、今回は何をやっても、どうにもならない頑固な滞りがありました。

で、ブログでたまに出てくる奴、それはいつもトンチンカンな事をいう
アシスタント君のことだが、彼は私が本当に困った時にniceなことを言い出すから
トンチンカンな割りに彼の意見はあなどれないのだ。

アシスタント君:

「祝詞だよ祝詞！祝詞をあげればいいんだよ！」

と言われてみて、なるほど、やってみる価値はある。と、即行動。
やっぱり、アシスタント君の言う通り。
祝詞をあげた途端に痛みは

スパッ！！と 抜けた。

祝詞は毎日あげているが、今回の祝詞は、ちと長いやつなのね。

これじゃ、これじゃ～！！
分かったじょ～。



光のロードが繋がったぞ～。

と、感動していたのにも関わらず
私は、そのことさえもすっかり忘れておって、（ポジティブ健忘症だから）
まさか中国の記事を投稿した事が、私の股関節痛と関連があるなどとは、
疑ったことは無かった。



クライアントさんの洞察にもいや～、恐れ入りやした。。

死しても意識は今ここにある。
過去も中国の出来事も、今のこの空間に同時に起きていることなんだ！

ところで、私が中国の霊の記事を投稿したことによって、
「私の体調が崩れたのでは？」と、
気づいちゃうクライアントさんってめっちゃ頼もしくくないですか？

このお話が何を言っているかわからない方は、
<[霊能者シリーズ・16・戦争の犠牲者たち](#)と[霊能者シリーズの私の迷い](#)>
をご覧くださいませ

彼女のことに皆さんで興味がおありかと思うので、ちょこっとだけお話ししますね。
そもそも、うちに来てくださるクライアントさんってピュアな人が多いです。

でも、だいたい強烈な過去の経験から



暗～くなっちゃたり、



自信がなくなっちゃったり、



いじめてしまっていたり、



自分は醜い存在だとか
存在する価値がないとか、

そんなパターンに陥っている人が多いんですね。



それが、どんなに美人でもどんなに優秀だったとしても、
そんなことが問題ではないのだ～。

確かにうちにいらしたときは、そんな印象はないこともないが、

※誤解のないように一言

（このクライアントさんがそうだったと言っているわけではありません。
多かれ少なかれ、誰でももっているビリーフです。皆さん例外なく早く手放すと
楽になるなのだ。）

でも、私はその人の本来の魂の形が見えるから、
その人の魂がどこへ戻ろうとしているのかだいたいわかります。

だから、

「行くべきところに行けるのだから焦らないでください❤️」
と伝えたいところです。

「あなたがダメな存在だったら、誰がダメじゃない人になるんじやい！」
と声を上げて言いたい。

「守護霊も先祖もそういつとるで！」
とも言いたい。

「私があんさんの魂の光を通訳させて貰いまんがな～」
とも叫びたい。



も～興奮して目玉が出ちまうでないか～

あ～～あ、また話はそれるので本題に戻ります。

そのクライアントさんが無料オリエンテーションに予約をしてくれて、
初めてお話ししたのは去年の8月のことでした。

医者からは死期は告げられていないと言っていましたが、
本人も医者も家族も誰が見ても、今年いっぱい命といえる重症な病を持っていた
クライアントさんなんです。

私は初めて電話でお話した時に
彼女がここ数ヶ月でこの世になくなる命のように思えなかった。
そして、当人も本気で私と同じ思いだったようだ。

その考えは常識から言ったら、クレイジーなことなのだろうが・・・。

しかし、それを裏付けるように彼女の信頼する尼さんから、
彼女はアドバイス（チャネリング）を受けていたそうだ。

8月にあるヒーラーのところに行くことによってあなたの命は救われると。

彼女を救ったというヒーラーが私だと言いたいんじゃないんです。
色々なお導きがあって、結果、救われたんですね。
これ、本当の話です。解説は控えますが。

でも、薬の副作用って怖いもので、
その人の本来の魂の輝きさえも黒ずませてしまうかのように、

彼女の本来持っていた感性は、ストップさせられていた状態でお越しになったのです。

死期は近づいているし、薬はアレコレ打たれるし、あちらこちら痛かったり、
自分が自分で無くなるような、そんな不安もあったかもしれませんね～。
それは誰だって当然のことです。

彼女は3ヶ月コースのセッションを選んでくれて、
3ヶ月間、私は彼女からたくさんの事を教えてもらった気がします。

さて、それからどうなったんでしょうか？

私が、中国で不幸にも亡くなられた戦争の被害者たちの存在を、
平成26年11月に、blogによって公開することになったのです。

まさかそれが、寝た子を起こすことになるとは知らずに。



ふにゃ〜、びっくりしたな〜も〜。
わしゃ目覚めたにやろめ。

でも、どこかで分かっていたのだと思う。
その証拠に記事を書くことがなかなか吹っ切れなかったからだよね。

・・・すごく迷っていた・・・。根拠もなく・・・。

多分無意識のレベルで、とてつもないパワーを持った霊能者が現れるのを
待っていたのだろう。

その時私は彼女に霊能があるとは、その時はわかっていなかった。

重篤な病を持ち、手術や薬漬けになっている彼女には今やその力はなかった。
そんな状態の時に彼女が現れたのもあるが、
そのクライアントさん自身も、自分にどれだけの能力があるのか
あまりわかっていなかったのではないだろうか。

重度の病い（不治の病とも言えるかもしれない）クライアントさんが
セッションに来られてから3ヶ月位して、私はblogを公開しました。
blogを欠かさず見てくれている彼女はこう言いました。

最初は、「那旺先生、なんであんな事を書いちゃったんですか？お体大丈夫ですか？」

と仰っていたクライアントさんでしたが、3ヶ月コースのセッションの最終日には、

「今はまだ病気が治ったばかりで、自信がないけれど、
那旺先生が上げきれなかった残りの霊さんたちがまだいらしたのなら、
私が元気になったら必ずさせて貰います」

と宣言された。

顔には本気な雰囲気バリバリです💥

病気の残像なんって、見えません。オーラが違いますからね👍

彼女が現在の医療では到底克服するのは難しいとされている病を完全復活したのが、今年の1月です。

彼女は3ヶ月コースが終わって1月にまた単発のセッションに来てくれた時にこう言いました。

「那旺先生、無事に全員あげさせて貰いましたよ～」

さらに、彼女はこういうのです。

「やっぱりこの人、本物だ！」

と思わせることを・・・。



「那旺先生、私、霊さんたちにこう提案したんです。」

と話してくれた。

クライアントさん：

「提案って、こんな感じね！」

「那旺さんの乗っていたバスに乗り損ねてしまい、
日本に帰って来れなかった皆さんに私が今からお声掛けを致します。
どうぞ某の港にお集まり下さい。
港は、3つ用意してありますから、好きな港を選んでお集まり下さい。
私がお迎えに参りま～す」



と募ったそうだ。

成る程、彼女らしい気の利いた提案だと思った。

クライアントさん：

「そうしたらね！びっくりなんです。那旺先生聞いて下さいよ。
3つの港のうち、最初の港に行ってみたら(意識だけでですよ)、
そりゃあも〜、凄い人数で黒山の人ばかり。
数えられる人数じゃないんです。」

私：

「へー、そんなに多人数だったんだ。

だから、私たちのバスに全員乗り切れなかったんだね。かわいそうに👵」

よく考えてみると、戦後から居残り組になった霊達は、じっ〜と助けを待ち続け、
これからどう生きていったらいいか

(実は肉体は亡くなっているけど、魂は生きているのだ)

分からなくなっていたと思うのよ。



(猫バス、満員です〜。)

そんな時、私達のバスがやって来て、やっと故郷に帰れると思ったのに、
そのバスに乗り損ねちゃった👵時は どんなに口惜しかっただろう。
今更ながら改めて気付いたのです。

日本へ戻ってから、ヒーリングスクールのヒーラー達の殆どが、
友人だった霊能者から浄霊を受けて、元気を取り戻した👉のですが、

霊能者は、中国に残してきた霊達の存在に気付かなかったのだろうか？
改めて疑問がわいてきた。

気付いても気がつかないフリをしたの？

ボランティアなんてお金💰にならないから無視したの？

それとも、自分の力では到底浄霊は無理と判断したのかしら？

あくまでも私の想像だが、彼は気が付いていたのだと思う。そんな気がする。
その後、1年くらい経ってから霊能者は私から自然に離れて行った。

そして、ついにはテレビ📺のワイドショーで 世間を騒がせして、
警察のお縄になってしまったのだ。
霊能力を色と名誉欲とお金と引き換えにした結果なのかな～。

さて、話を戻らにやなりませぬ。

霊能者シリーズでも書いた様に野ションからバスに戻り、
私の隣の席の女性が霊に乗っ取られて直ぐに、
ヒーリングスクールの先生は、バスの窓に張り付いて覗いている霊達の数に驚き、

「みんな、カーテンを直ぐに閉めなさい。目を見てはいけない！」

と叫んでいました。
その緊張感と言ったら、まるでバスジャックにあった様でした。

あの時、窓の外にいた霊達と目を合わせていたら、
私たちはいったいどうなっちゃったんだろうか？

隣の席のSさんの様に、出すものもなくなる程の嘔吐を起こし、
医者も手が付けられないほど衰弱したヒーラーが続出していたかもしれません。

そうになったら私一人では対応出来なかっただろう。
私達の實力では、あれくらいで（バスで逃げるのが）精一杯だったのだ。

實力のないものが霊の世界に顔を突っ込み、軽々に対応してはならないのだ。

とうとう15年の時を経て、彼らの霊を祀る時が来たのです。
お祀りすることが出来る人が私の前に現れました。
去年の8月に現れたその人は、ある意味負傷兵の様でした。

命を復活させたクライアントさんは、
12月には霊能力を吹き返し本来の役目を思い出し、1月には準備が整いました。
さて、前回の記事では、3つ指定した港のうち、
一つ目の港を（バーチャルで）覗いてみたクライアントさんは、

霊達の人数のあまりの多さに驚き😱しました。
他の2つの港を合わせたら、いったいどれだけの人数になるんだと
恐れおののいたクライアントでしたが、

結局、残りの2つの港に行ったら誰一人も居なかったそうです。

その理由は未だにわからないそうですが。

クライアントさんは、

「御準備宜しいですか？」とばかりに、霊さん達を光のもとへ上げようとした時、よくよく見ると、シベリアから来たソ連人もいるではないか。

「それって、日本兵をいじめていた人じゃないの？」

と予想外の来客に困惑したそうなの。

だよね～だよね～、反則だよね～。



いやいや、それだけでなく、

戦後 ※シベリアに抑留された日本兵も沢山来ているじゃないか！

※ 終戦後武装解除され投降した日本軍は、

ソ連によっておもにシベリアに労働力として移送隔離され、
長期にわたる抑留生活と奴隷的強制労働により多数の人が被害を受けました。

シベリアでも、戦後になっても今なお戦争は終わっていなかった。

クライアントさんがお声をかけをしたのは、

私が訪ねた中国の特定の場所に限った霊さん達でした。

ただ、クライアントさんは霊の皆さんに港に集まって頂く前に、

とってもNICEなキーワードを残していたのを覚えていますか？

このシリーズの⑧に書いてありますから、ご覧くださればわかります。

11月に中国大連の記事を投稿して直ぐに彼女は言いました。

「今はまだ病気が治ったばかりで、自信がないけれど、
那旺先生が上げきれなかった残りの霊さんたちがまだいらしたのなら、
私が元気になったら必ずさせて貰います」

と、私に約束されました。
それは本当に毅然とした言葉だった。



(わてら、聞いちゃったで～)

つまり、この時の彼女の宣言を小耳に挟んだ中国の霊さん達は、シベリアまで噂を繋げてくれたのではないのでしょうか？

改めて、もう一度、読者の皆さんに確認しますよ～～。
御存知でしょうが、この話って霊の世界の話ですからね。
シベリアに抑留された日本兵の家族が中国に残されていたとしたら、

家族だったら何が何でもこの情報は伝えたいと思うのが人情じゃないですか。
当然、一緒に日本に帰りたいと思いますよね！

タイミングが良かったのは、彼女が宣言してから霊の皆さんにお声をかけをする迄に、3ヶ月の期間があった事です。

このタイムラグがあったお陰で、沢山の霊さん達に噂が広がる🌀
結果になったのかもしれませんが。
よくよく考えると、この宇宙は粋な事をしますね。

愛ですね～💕。
そうそう、
愛と言え、こんなことが起こりました。

🚨 注意信号で～す。このあと最終回があったはずなのに、
投稿ボタンをミスしたおかげで次のテーマにいつてもうた。

ですので、リンク貼りますね。

[霊能者シリーズの私の迷い（中国大連事件）11](#)

今、ブログを整理していたら、とんでもないことに気づきました。

3月11日の次の記事、

霊能者シリーズの私の迷い（中国大連事件）⑪

が、なんと公開されていなかった事に。

もう、びっくりです。

このシリーズを10回まで引っ張っておいて

最終回の一番私が言いたかったオチが抜けていたのです。

きゃ～(*_*)ビックリです。本当にごめんなさい。

たまたまパソコンの不具合で公開していたはずの記事が下書きのままになっている事が過去にもあったけど、その時は運よく気づいて未然に防げていた為に問題はありませんが、よりによって今回は最終回ですからね～。

連続で読んでくださった方は、どう考えても違和感がおありだったでしょうね。

改めて、このシリーズの最後の投稿を掲載いたします。

指定した港には、シベリアに抑留された日本兵とソ連人かどうかはわからないが、白人の霊さん達も集まっていました。

クライアントさんがこのあまりにも多くの霊さん達を引き上げるには、何度かに分けなければなりません。

もしや、

多分、

きっと・・・。



（おまわりさんは、逮捕するんだで～）

敵かもしれない白人も混ざっているし、どうしたものかと思案していたら、中国に残された日本人の霊さん達がこう言ったそうです。

「シベリアの方達は私達よりもっと寒い思いをされていました。
どうぞあちらを先に上げてください」と。

私はその話を聞いて感動しました💕

死しても日本人の人を思いやる魂は**生きているんだと**。(絶賛👍)

そして、今回↑あがるチャンスに恵まれた霊の皆さんは、光の源🌌に戻られました。



このブログを掲載してから彼女から連絡をいただきました。

まだ残留孤児の方が気になるのでしたらまた仕事いたします。
他に気になるところがあればできる範囲で順に帰還していただきます。

という意味の内容でした。頼もしい。。



(わたし、ウルトラの母です。今日はどちらへお出かけでっか?)

彼女が復活してくれたことを**心から感謝いたします**。

改めて、霊さん達にも合掌させて貰いましょう。
皆さん良かったらご一緒に！

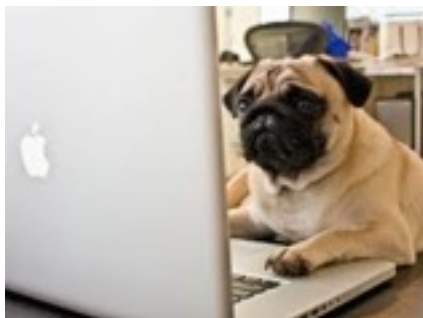
「ありがとう。愛しています。💕」

これにて「霊能者シリーズの私の迷い」は**終わります**。
以上でした。

話が前後してごめんなさい。本当に間が抜けるってこういうことね。

<ここから覚醒へのプロセス>

ここに掲載させていたクライアントさん
（仮にAさんとしておきましょう）は ネットで私を探してくれた。
よくぞ私を見つけてくださいました。



（え〜と、那旺さんのサイトだわん〜）

彼女は私のセッションを受ける前に私のブログを全部制覇して
セッションに取り組んでくれました。

結構、記事はたくさんありますぜい。

凄いな〜。

彼女の自分の人生を変えようとする覚悟が、形に現れていると思いました。

人間には人生で何回かの大きな転機があります。

人生で最大のイベントは誕生の時、結婚する時、死ぬ時とされています。

人間界では・・・。

この3つの中で自分の意思が反映出来るのは結婚だけと、ちまたでは言われていますが、
果たしてどうでしょうか？

もしかしたら、一つも決めさせて貰うことなんてないのかもしれない🤔

反対に、もしかして3つとも決められるのかもしれない🤔

私は大きな意味では、「**決められない**」のではないかとと思っています。

でも小さな意味では「**決められる。**」

なんか、わかるようでわかんない事を言ってごめんなさい m(._.)m

皆さん、自分で決めてくだされ🙌

（ここでは説明するのが面倒いので、逃げさせてもらいます）



(抜き足、差し足、忍び足とくりゃ)

でも人生の最大のイベントを決断する時は、
くれぐれも潜在意識の声を聞かないとダメよ。
潜在意識の声は光の国と繋がっているので、あちらに任せておけば楽チンです。

皆さんの中でこういうワークが必要ななら、勉強会しましょうね～。

話は戻って～と、
Aさんは霊さん達を助けることが出来る力量のある・・・、
つまり重要な人だったから、救われたのでしょうか？
特別な人だったから神様から命を貰ったのかな～？

特別な人なんてそもそもいないんじゃないかな？
誰も大して変わりなんてありません。
みんな一緒だと思うんですよ。自分が自分を差別しなければ。

人間は窮地に立った時に火事場のくそ力が出るものです。



(ポパイ。知ってるかな？
ほうれん草食べると復活するのだ)

くそ力というのは無理くり力を入れるのではないのじゃ。
苦しすぎて無理くり力が出なくなることを言うのら～。

人にはそんな時にチャンスが訪れる時がある。



(パパにはチャンスはいつでも訪れるのだ～)

自分で自分の行くべきはずだった天命を思い出すチャンスが。

Bさんもネットで私を見つけ、ブログを全て読まれてから来て下さいました。
見た目は一見健康そうでも心は死にかかっていた。

心の中は、最期の最後と言う印象を受けました。
でも、それから3ヶ月で心の命を吹き返した行き先は、
今は世界の平和の為に生きようと決めているようです。

死んだはずの命を吹き返すと、人の役にたつ事が自分の喜びになるものなんですね。
人間というものはどう言うわけか、こういう経験を経て行き意識が覚醒していくみたい
ですね。

覚醒のプロセスには

学べばならない必須項目があるとのご意見（誰の??）があるようで、
人間自体のDNAにプログラミングされているみたいです。

例えば・・・こんな悩みってたまに聞きますよね？

「私苦しいんです。この病気を治してくれますか？」

「身勝手な主人を変えてもらえますか？」

「子供が暴れています。子供をおとなしくさせて、学校に行かせなくては。」

「上司にパワハラされているんです。

上司がいなくなれば、私は安心して職場にいられます」

「私は自分のやりたいことがわからない。教えてください」

「お金さえあれば、なんとかなるんです」

「彼が私を愛してくれない。彼の愛を取り戻したい」



天の声よりメッセージ：

「残念ながら、あんさん！歯を磨いて、顔洗って、おしっこして寝てなんしゃい。」



(シロ！歯磨き大切ね。🎵)

まだ続く・天の声よりメッセージ：

「何故って？自分が主役じゃなきゃ、助けたくても助けてあげられへんわ～。

自分のことより相手のことが主体になってしまっているやん。

それじゃあ、あんさんの幸せは待てど暮らせど永遠にやって来まへん。

自分のパワーがなくなってしまうやろ？

「～がありさえすれば、～さんが変わってくれば・・・私は幸せになれるのに・・・」って。

そんな条件付がある限り、あんさんにその条件に縛られて、

手に入れるまで待ち続けるしかない。

それって、忍耐ですわな～。

《相手がなんとかしてくれないと、自分は幸せになれない》

人生を選ぶのはとっても辛いこととおます。

そういう立ち位置では、決して自分の環境を変えるような奇跡は起きへん。

あんさんの守護霊も動きとうても動けんのや。

ただ見ているだけで、お手伝いすることはできないのどすえ～。あんさんの選択肢は一つ

ではないことに気づかないと、ただじっと固まっていなくてはなりません。
春はやってきまへん。
ど寒いえ〜。（ブルブル🥶）

私たちは体は死んでも、魂は死なない。

魂になってから、「自分が死んでいない！」とわかって、

心が生きていなければ死んでいるようなものだと思いますか？」

~~~~~

（意識は作者に戻る）

私もまだまだ未熟です。  
人生の成長過程です。

覚醒へのプロセスを一つ一つ手探りで歩んでいます。  
時には被害者の意識のなることもあるのです。  
これまでの間に自分の弱点をじい〜っと見てきました。

でも意外にも自分の弱点が強みになることも多々あったのです。  
お陰様で今は、日々が満たされていることの方が多くなって来たのも確かです。

歯を磨いて、顔を洗って、おしっこして。。を繰り返して、  
少しずつ大人になっています。  
幸せになるアプローチは色々あるけれど、相性の良いセラピーを受けると、  
楽ちに覚醒に近づくこともあります。

※（相性のいいセラピーを受けられるポイントは、  
セラピスト自身が自分の内面をよく見つめている人を探すのがいいです。  
見た感じ、フラットで囚われが少ない人ですね。

そういう人は洞察が深いです。  
第六感が働いているので、セラピストの思考や癖が反映しにくいかなと思うんですね。  
見つかったら、チャ〜ンス！）

~~~~~

<このお話これでおしまいで〜す>